

24
25

 U-NEXT

 Premier
League



REPORT

サッカー試合解説レポート

MATCH

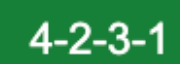
U-NEXT プレミアリーグ 【28】 0309_トッテナム・ホットスパーVSボーンマス

DATE

2025/03/09

NAME

田中裕介



マーカス・タヴァーニアー 42'
エヴァニウソン 65'

	チーム別データ	
12	シュート	17
4	枠内シュート	8
61%	ボール支配率	39%
528	パス	336
81%	パス成功率	76%
15	ファウル	16
3	イエローカード	3
0	レッドカード	0
0	オフサイド	3
3	コーナーキック	6

MATCH REPORT

SCORE 2-2 (1st 0-1 2nd 2-1)

TOP3 point

- ・ ボーンマスの「伝家の宝刀」 ショートカウンター
- ・ 流れを変えたスパーズのエース孫
- ・ 勝ち点1の意味合いが違う両チーム

Trivia of this match

- ・ スパーズのグレイは父アンディ、祖父のフランク、大叔父のエディは皆元リーズユナイテッド、スコットランド代表でプレーした優秀なフットボール家系。
- ・ スパーズのダンゾは学生時代私立の学校からラグビーでの奨学金のオファーがあった
- ・ ボーンマスのハイセンはセルヒオ・ラモスに憧れて育ち攻撃的なDF志向がある

【スパーズvsボーンマス試合レポートまとめ】

(スパーズの戦い方と試合展開)

前半：・ ELとの兼ね合いや怪我人の復帰などでターンオーバーを採用しスタメンを**6名変更**。

- ・ アンカーにビスマ、IHにベントankールとサール。中盤3枚の構成はバランスや推進力、局面打開力に欠けていた→試合勘や配置の組み合わせによるもの？
- ・ 立ち上がりは右サイドを中心に圧力をかけた。右SB P・ ポロも積極的に高い位置を取りに行く。
- ・ 自陣ビルドアップに苦戦しロストから何度もピンチを迎える。GKヴィカーリオの好セーブでことなきを得る。
- ・ 失点はロングカウンターから。パスカットから右サイドの長い距離をドリブルで運ばれクロス。左SBスペンスの背後から走り込まれて合わせられた→スペンスのクロス対応時のステップを見るとタバーニアは見えてなかったか？

後半：・ 選手交代で配置を変更。**エースの孫**を左WGに置き、ベントankールを本来のアンカーへ。**ボールの周りがスムーズになり攻撃の機会が増加**。

- ・ サイドからの攻撃の意図は伝わるものの、中央からの攻撃は皆無。TOPのソランキにはボールがほとんど入らず。
- ・ 次々と選手交代のカードを切り徐々に流れを持ってくる。特に**マディソン投入後**はボールの引き出しがうまくいき攻撃に厚みと脅威が出た。
- ・ 2失点目はは中央を破られて失点。中盤のバランスとCB間のコミュニケーション不足から。
- ・ 失点後はサールのクロス気味のシュート？が入り1点差。なかなかチャンスはなかったが自陣ビルドアップからうまく打開し最後は孫が倒されてPK。これを孫が沈めた（PKは見事）
- ・ なんとか追いつき貴重な勝ち点1獲得。試合を通してビルドアップに苦労。特に後ろ向きの味方に対して厳しいボールを入れてロスト→ピンチのシーンが散見。**入れる側の判断と受ける側のサポートの構築**は必要と感じた。

(ボーンマスの戦い方と試合展開)

前半：・ 前線から高い位置でのプレスを遂行。チームの強みである**即時奪還からの速い攻撃→ショートカウンター**は随所に見られた。

- ・ CHのクリスティが相手アンカーのビスマに対して捕まえにくい基本守備配置。
- ・ 左SBケルケズのパスカットから長いドリブルからクロス。合わせてのは右WGのタバーニア。**見事なロングカウンター**だった。（**タバーニア**は試合を通して守備でも貢献）
- ・ 中盤の底に入ったアダムズは試合を通して守備に貢献。ボーンマスの中盤の「番犬」

後半：・ 形は変えずに高い位置からのプレス→奪って速い攻撃を狙う。

- ・ 追加点は中央突破から。相手の中盤中央の穴を見逃さずOHクライフェルトがいい位置で受けてエヴァニウソンへ完璧なスルーパス。これを冷静に沈める。
- ・ 2-0の後はこのままでいくかと思われたがサールの得点で流れが少しずつ変わってくる。GKケパにとっては痛い失点だった→クロスを読んだポジショニングによりやや前がかりになっていた。
- ・ 2失点目は相手のビルドアップを捕まえにいった裏をつかれてPK献上。この試合を通して**ハマっていたプレス**が綺麗に崩された→リードしていたことを考えるとミドルブロックでもよかったか？
- ・ AWAYで勝ち点3が見えていた内容だっただけに最後に追いつかれて**勝ち点2を失った印象**は否めない。